

テーマ：データ駆動型創薬化学研究の展開
～データ・AI活用の現状と実践事例～

2025年11月11日（火） 18:00-19:00

要登録・オンライン・参加無料 [登録サイトはこちら](#)



ご講演内容

近年、医薬品の開発において、AI技術を用いた創薬手法への期待が高まっています。今回のセミナーでは、国内製薬企業にて高度なデータ活用に基づくAI創薬（データ駆動型創薬）研究に取り組まれている竹内孝輔先生をお招きし、自社の事例も含めAI創薬技術に関するトピックを紹介いたします。

<主なトピック>

- ✓ 創薬研究におけるデータおよびAIを活用した他社事例紹介
- ✓ データ駆動型創薬の価値と従来手法からの転換
- ✓ 第一三共の目指す次世代の創薬化学研究
- ✓ データ駆動型創薬に転換したDMTAサイクルの紹介

医薬品開発におけるAI技術の最近の進歩、今後の活用法について興味をお持ちの先生方、研究支援に携わっている方々のご参加をお待ちしております。

モデレーター

片倉 晋一 先生

一般社団法人バイオ産業情報化コンソーシアム（JBIC）
戦略企画本部 兼 JBIC研究所 部長
CBI学会理事 研究機構長

講師紹介



竹内 孝輔 先生

第一三共株式会社

研究開発本部 モダリティ第一研究所 プリンシパルサイエンティスト

2010年3月：金沢大学大学院自然科学研究科博士後期課程 修了

2010年4月：第一三共株式会社 入社

2020年2月：ボン大学 派遣留学

2022年2月：第一三共株式会社

留学で得た知見を活かし、データ駆動型創薬を推進

2025年4月：モダリティ第一研究所 プリンシパルサイエンティスト

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、臨床研究・治験に関わる研究者および研究支援者の育成を目的に、各種の教育研修プログラムを開講しております。この『橋渡し研究プログラム 教育セミナー』は、研究シーズ実用化に向けた開発イメージ構築のお手伝いを主眼とし、実践的側面と土台となる理論的側面をバランス良く配して経験豊富な講師陣によりわかりやすい講義を提供していきます。

お問合せ先： 慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター TR部門

TEL 03-5363-3474 mail: apply-tr@ctr.hosp.keio.ac.jp